桜美林学園

同窓会だより

2019.9.20発行

201号

2019 総会&リ・ユニオン レポート	2
阿部友昭氏講演会	4
広げようオビリンナーの輪	6
還暦·古稀·喜寿·傘寿祝い礼拝	7
清水安三先生随筆 ······	8
ワークショップ開催報告	9
追悼	1
Information / 編集後記 ····································	2







2019 総会&リ・ユニオン レポート

詳細は ウェブサイトへ



6月にもかかわらず晴天に恵まれ、荊冠堂チャペルにて多くの方にご参加いただきました。 木下副会長の報告と参加された3名の方の感想をご紹介します。

2019 総会&リ・ユニオン

2019.06.01

幻の校歌に旧交を深めて

6月1日(土)に、2019総会&リ・ユニオンが荊冠堂チャペル にて行われました。総会では、会則により幹事会で審議された 2018年度事業報告・決算報告及び、2019年度事業計画・予算 が報告されました。総会が終了し、続いて同窓生である阿部友 昭さん(75大中卒)による講演『未来への遺言 忘災 東日 本大震災 3.11を忘れずに、後世に伝えたい』が披露されまし た。その後、場所を桜カフェに移動し、第2部の懇親会が開催 されました。今回は約130人の卒業生が集まりました。長谷川 会長のあいさつに始まり、限られた時間の中、参加者は在学中 の思い出など、出席された多くの先生方との話に花を咲かせて いました。今回は参加者に第一期生が参加されていた一方で、 卒業して3年目の若い同窓生も参加していただきました。また、 同窓生を代表して、学園の「幻の校歌」を駒田一郎さん(59高 校卒)が歌ってくださいました。その校歌のエピソードに参加 者が興味深く聞きいっていました。また各種関係団体の方々の ご参加もあり、中身の濃い会を催すことができました。楽しい 時間というものはあっという間に過ぎ、みな次回の再会を約束 して、滞りなく終了いたしました。

行事企画担当副会長 木下浩司



校歌の作曲は小川留三先生と佐藤小夜先生(当時の音楽教師) お二人の競作で、生徒の人気投票なしで小川留三先生作曲の 現校歌に安三先生が決められたようです(上の楽譜は採用されずに幻となった佐藤先生作曲のもの。リ・ユニオンの際に 駒田一郎さんからお預かりしました)。



総会の中で『同窓会だより』の発行に多大なるご尽力をいただいている小林 茂先生(前列左から5人目)に、永年功労賞が贈られました。

\ リ・ユニオンに参加しました! /

与えられたもの

二宮泰助/52短英卒



今 回は私にとり6年ぶりのリ・ユニオン参加でした。 前日には今春オープンした新宿キャンパスを見学することもできました。

町田キャンパスに着くと心の故郷に帰ったような気がします。訪れるたびに学園の変貌に驚かされます。当日は有意義な阿部友昭氏の講演のあと、懇親会では旧知の方々ともお会いし楽しい一時を過ごすことができました。私は1950年桜美林短期大学英文科第一回生として入学しました。今年90歳になりました。敗戦後5年、まだ貧しく学園も粗削りでしたが、長い戦争から解放され、平和と自由をめざして歩み始めた時期で空気も明るく、安三先生はじめ個性ある先生方の講義も魅力的で楽しく新鮮でした。しかし、そんな中で私は大きな挫折を体験しました。肺結核で大手術を受けたのです。そのため1年遅れて辛うじて卒業しました。

私の家族は戦後外地(韓国)からの引き揚げ者で、父親もなかったので当時、福岡に住む母の下で失意の時を過ごしていました。そんな中にあって、私を大きく立ち上がらせたものは、安三先生から届いた「復活の丘」誌創刊号と終生の友となった数人の桜美林の親友たちでした。安三先生の高い理想(信仰)と現実生活への実践力に目覚めさせられ、在学中、私を家族にまで迎え入れてくれた友情の支えで私は立ち上がることができました。彼らは皆故人となりましたが、今思うと胸が熱くなります。

30年ぶりの学園。感謝!

中東勇也/86大中卒



めてリ・ユニオンに参加させていただきました。 ['] 1986年度中文科卒ということですので、約30年 ぶりの学園訪問となります。リ・ユニオン当日は所用が あり、遅れての学園到着。にもかかわらず、到着した時 には懐かしさのあまり学園内をひと周り散策していまし た。まず足を運んだのは欅の広場。学生時代友と語り 合った想い出の場所。周りに新しい校舎が建ち、広場自 体もキレイになっていたので、正直変わってしまったな という印象。一方チャペルから亦説館、其中館を眺める と、30年前となんら変わらない風景。中文科の立て看 板でもあれば当時のままです。「梅雨入り宣言コンパ」 など……暫し足を止めて感慨に浸るひとときでした。我 らが恩師石川忠久先生にもお会いすることができました。 新元号令和決定の際には、その選定メンバーのお一人で あったという報道。驚きと改めて尊敬の念を感じていた ところです。お声の張りも当時のままでお元気そうでな によりでした。リ・ユニオンのラスト。世代を超えた卒 業生たちが共に手を取って一つの輪になり、桜美林学園 の校歌を熱唱したのには感動しました。90才の大先輩 から先日卒業されたばかりの若人まで一つになれたと思 います。最後になりましたが、同窓会実行委員の方々に は、準備から当日の進行役、お世話にいたるまで感謝し ております。卒業生の皆さま、またリ・ユニオンでお会 いしましょう。朋友們、あのとき命あって良かったー!

同窓会総会 リ・ユニオン感想

佐藤佑樹/16大LA卒



最初、リ・ユニオンへの参加は気持ち半分でした。 一人で行く気にはなれなかったため、大学で同じゼミだった友達に行くか聞いてみたところ、「他の人にも行くか聞いてみるね」と連絡が来ました。その後、「他の人は行かないみたいだけど、私は一人でも行く」と連絡が来たため、自分から話を出しておいて、友達一人に行かせる気にはなれなかったため参加することにしました。総会の感想は、参加して良かったのかという不安と緊張で内容がほとんど頭に入ってきませんでした。 当日一緒に参加した友達に総会の感想を聞くと阿部友昭氏講演会が印象に残ったようで「震災の話が聞けたのは貴重な経験だった。桜美林の大先輩に、津波の時、校長先生として生徒や地元の方々を助けたような凄い方がいらっしゃるとは思わなかった。」と言っていました。リ・ユニオンの感想は、知っている人はおらず不安でしたが、大先輩の方々がやさしく接してくださり話しやすかったです。また、知っている先生もいないと思っていたのですが、一度だけ講義を受けた先生がおり、5~6年ぶりに話しができたことにこの場に参加して良かったなと思いました。最後に、今回参加してみて悪くないなと、良い経験のひとつになったと思います。

してきました

阿部友昭氏講演会

「未来への遺言」

チリ地震の教訓

東日本大震災

卒業式前日に起きた

皆さんこんにちは。私は先ほどご紹介ありました1975年桜美林の中文介ありました1975年桜美林の中文の「未来への遺言」という題ですけれの「未来への遺言」という題ですけれがも、これは8年前の東日本大震災の体験を、皆さんへお伝えしようとするものです。

生まれた家がありました。
の100メートルもないところに私のです。志津川地区という、本当に海かです。志津川地区という、本当に海かり、本当に海が、地域、宮城県の北東部に位置します、

1960年のチリ地震の津波の時、私は小学校二年生でしたが、その時にも、津波にあって、近所の方が亡くなり、家も半壊状態となり、津波の恐ろしさをまざまざと感じました。それ以来、毎年5月24日(この日はチリ地震の津波が来た日ですが)には「地震がなくても、何か異常な引き潮があったら高台に逃げるんだ、何も持たずに逃げるんだ、体一つで逃げるんだ」というようなことを生徒や地域の方々に話

ご紹介いたします。 要約して 講演会の内容を、 総会における



全文はウェブサイ

ら、当日、学校にいませんでした。ちです。実は私は校長をしておきながした歌津中学校の校庭に逃げた生徒た前の3月11日、私が校長をしておりま前の3月11日、私が校長をしておりま

式で、それから前任の戸実は翌日の3月12日が卒業

任校に出向いて「明日は卒業式で、そのため前倉中学校も同じく翌日が

来られないけれども、卒

ていたんです。

状態でした。 年後2時4分、あのすごい地震があり 年後2時4分、あのすごい地震があり

小学生たちを高台の中学校へ

引いていっています。がどんどんどんどんどんどんどんどんだんだんがんなんがの方にる」と。目の前の川を見たら、川の水私はとっさに「これは絶対津波が来

校長の役目から学校に戻らなくちゃ

を運転しました。 校までの約10キロメートルの道のりいけないという気持ちで、歌津中学

高さのところにあります。その下、 高さのところにあります。その下、 海抜15メートルのところに伊里前小 学校があります。その小学校が本当 した。下の伊里前小学校を見ると、 小学生が校庭に並んでいました。そ して地域の方々も伊里前小学校の して地域の方々も伊里前小学校の校

で走っていって、そして

私はとっさに校門の方ま

時26分、ちょうど地震があってわずか5、6分後、3

も続きました。 れから夜中までに津波は何波も何波した。一波だけではありません、そした。一波だけではありません、そ

――体育館に紅白帯を張って800人の避難生活

いる人達は800人位です。そこでら、200個あると。でも避難して「何個作ってきましたか?」と聞いたおにぎりを作って来てくれました。

にしてもらいました。
にぎりを、400~500個くらいと女子生徒たちを呼びまして、そのおとすとすないまして、そのおりない。

その女子生徒の一人は「校長先生、その女子生徒の一人は「校長先生、いっぱいになった」と言うんです。い子供から、お年寄りのおじいちゃんい子供から、お年寄りのおじいちゃんがとう。あのおにぎりうまかった』そがとう。あのおにぎりうまかった』そがいっぱいになった」と言うようなこがいっぱいになった」と言うようなことを後で話してくれました。

5カ月遅れで迎えた卒業式

きました。 そんな避難所生活が約5カ月、8月 まで続きました。そして3月12日に予定されていた卒業式は、なんと5カ月まで続きました。そして3月12日に予まで続きました。

持ってきました。そして世界の皆さんへのお礼の意味では、ご支援をいただいた全国の皆さん、の号、皆さんにお渡しした私の色紙

込めた言葉となります。
「一に命、二に心、三に夢」は卒業式の式辞でお話しした、私の言葉です。

●成果表彰●

2018年度に優秀な成果をあげた、高等学校・軽音楽部と大学・女子バレーボール部、弓道部、 陸上競技部駅伝チームの4団体を表彰しました。弓道部主将の蛭間さんの感想文を掲載します。

こんにちは。弓道部主将の蛭間敬人です。この度はこのような式を開いて頂き、また表彰して頂き光栄に思います。私としては表彰内容の全日本大会での準優勝はとてもうれしかったのですがまさか学園同窓会から表彰して頂けるとは思ってもいませんでした。同窓生が集まるリ・ユニオンがあることを当日初めて知りその中での表彰はとても緊張しました。ほかの部活もすごい戦績を出していて、また大学生だけの表彰だけでなく高校生も表彰されていて驚きとともにすごいなとも思いました。全日本大会準優勝は個人戦ではなく団体戦のため私個人の力ではなく選手8名の力で成し遂げられたものだと思っ

ています。そのため表彰式には選手全員で出席したかったな、と思いました。全日本大会以外にも大会があり昨年度は個人戦ではありますが入賞した学生も多々います。「弓道」というほかの部活に比べてマイナーな部活なため、どのような競技なのか知らない方も大勢いると思います。そのためどのような競技なのか知ってほしいです。弓道は老若男女関係なくできる武道なので一度体験して頂けると楽しさがわかると思います。正直表彰されたことはとてもうれしかったので、今年度も昨年度以上の戦績で表彰されるよう部員一同団結して頑張っていきたいと思います。

表彰を受ける各団体の代表者たち



高等学校・軽音楽部



大学・弓道部



大学・女子バレーボール部



大学・陸上競技部駅伝チーム

アンケート結果について

桜美林学園同窓会は、同窓会活動についての アンケートを実施しました。 72名の方から回答をいただきましたので

72名の方から回答をいただきましたので、その結果をご報告します(数字は人数)。

▶ 還暦·古稀·喜寿·傘寿祝い礼拝について

参加したことがある:33 参加したことがない:36

▶ 中学·高等学校文化祭について

参加したことがある:10 参加したことがない:59

▶大学祭お茶サービス·同窓会室開放について

参加したことがある:16 参加したことがない:52

▶ 地方支部リ・ユニオンについて

参加したことがある:17 参加したことがない:53

同窓会だよりについてのご意見

- 清水安三先生の本を紹介してほしい。
- 今まで通りでよい。
- 在校生や卒業生の活躍をもっと知りたい!
- 1966年頃からの学園の発展の様子を写真付きで読みたい。
- 先生方のことを教えてほしい。先生方のお話が読めるとか。
- 学園の様子を詳細に伝えた記事を読みたい。
- 卒業後、地方で活躍している方について紹介してほしい。
- 変わった仕事、おもしろい職業に就いている卒業生を教えて!
- 学内の変化がもっとわかるような記事を。

アンケートについて

今回、リ・ユニオン出席者のご意見を掲載しましたが、今後の 同窓会への参加や、同窓会だよりへの同窓生の声をいただきた いと言う趣旨を重ねての報告としました。また、その他のアン ケート結果についてはウェブサイトに掲載しております。 今後も同窓会のイベントや支部会などで、同様のアンケートを 実施し、同窓会活動に活かして行きたいと考えておりますので ご協力のほどお願い申し上げます。

広げようオビリンナーの輪

詳細は ウェブサイトへ



全国に広がる支部会、同窓会、クラブ活動OB会の活動をお知らせします

支部会

千葉支部

2019.02.02

第17回 千葉リ・ユニオン

私たち夫婦は共に桜美林大学卒業生ですが、支部会には初めての参加で、子ども二人も一緒でしたので若干緊張しておりました。しかしながら、会場に入るととても賑やかな雰囲気のなか、先輩方が次々と話しかけてくださり、初対面にも関わらず昔からの友人の輪の中にいるようなアットホームな会で、とても有意義な時間を過ごさせていただきました。正に桜美林大学のあの温かい空気がその場に流れているかのようで、幸せな時間を皆さまと共有できましたことに感謝の気持ちでいっぱいです。ご活躍されている先輩方の後輩としていられることに誇りを感じましたし、自分たちもそのような先輩になれるようにと身が引き締まる思いです。佐藤東洋士学園長には卒業以来初めてお目にかかることができ、長崎から



お帰りになったその足で来てくださったというお元気そうな お姿に胸をなでおろしました。発展し続ける桜美林大学につ

いてお聞きし、その未来がますます 楽しみです。また参加させていただ きます。ありがとうございました。





石田陽一/06大BM卒·詩菜乃/07大英卒

支部会

群馬支部

2019.03.16

第17回 群馬リ・ユニオン



群馬リ・ユニオンの会場は利根川の畔に建ち周りを自然に囲まれた『ヘルシーパル赤城』。伊佐一治さんの司会で第一部が始まり、大越中学・高等学校長からは中学・高校生の新入生の増加についてなど学園の近況報告をいただきました。その後は出席者全員の自己紹介がありました。なかでも金子文雄さんは英語で自己紹介があり、ご自身が執筆された本を参加者すべてに贈呈いただきました。懇親会のなかで、結城支部長から県内に留まらずに県外で、その他の支部、または支部がまだない地域の同窓生との交流の可能性も模索したいとの話がありました。温泉地ならではの和気藹々とした会は、

第17回という数からも見られるように着実に絆 を深めているように感じます。来年の開催も楽 しみにしています。 山本美浩/86大中卒



北海道支部

2019.03.23

第9回 北海道リ・ユニオン

雪が舞う札幌大通公園"テレビ塔"にて、矢吹・新支部長のもと、平成最後の北海道リ・ユニオンが行われました。道内のオベリンナー15名、主に札幌近郊に在住の方々、遠くは道東の釧路から、西積丹の岩内町からの参加もありました。来賓として佐藤理事長、畑山学長、大越校長、同窓会本部からもお越し頂き、来賓への一問一答として無礼講の質問もあり、大いに盛り上がりました。令和元年となる今年10月5日(土)には、第10回記念大会を開催予定です。念願の支部旗の授与も予定しているので、今後さらに北海道支部を盛り上げて

いきたいと思います。北海道のオベリンナー! 皆さんの参加をお待ちしています。

加藤 彰/93大経卒



同窓会・クラス会を開催しました

同窓会

1962年度中学卒業同期会

2019.05.12

卒業から56年。長寿を祝う節目の古稀を迎えた若人たち(?) 25名が久しぶりに横浜駅に近いホテルに集いました。当時はA,Bの2クラスでしたが、ひとつのクラスのように仲良く続く仲間です。会場には卒業時の記念写真や過去に行われた同期会の写真が展示され、懐かしむ姿も見かけられました。近況報告では、今もステージに立つジャズボーカリストの友人が熱唱。また『人生は70歳より』の金言から、「お迎えあるときは今留守と言え」……などが披露され、いずれも会場が沸きました。そのまま同会場にて二次会に突入。



大いに笑い、大変楽しい時を過ごした一日でした。次回の開催は3年後を予定しておりますが、そこは臨機応変に機会があればまた集まりたいといった雰囲気のなかで校歌を歌い、お開きとなりました。 幹事一同

還暦・古稀・喜寿・傘寿 祝い礼拝

4月20日、風薫るさわやかな季節に100名の同窓生にお集まりいただき、感謝の礼拝を捧げました。



節目のお祝いを迎えられた皆さま。おめでとうございます

古稀を迎えて

10年前還暦を迎え、今回と同じ様にお祝いの会に出席させていただきました。10年前は、チャペルが新しくなるなど桜美林学園の発展にただただ驚くばかりでしたが、今回改めて、チャペルの中のすばらしい事、パイプオルガンの大きさには目を見張るほどでした。賛美歌を歌い学生時代を思い出しました。お祝いの会の出席者は100名。内、古稀の仲間は35名でした。式典の後の懇親会では先輩方々の昔話や現在の校歌が出来るまでと最初の校歌を聞き、オベリンナーの絆の深さを知りとても楽しい時を過ごしました。私たちもいつまでも健康で元気に喜寿を迎えたいと思います。

次に会える日を楽しみに有難うございました。 田中美江/67高校卒



喜寿を祝って

4月20日は美しい青空の日だった。復活の丘中腹のチャペルの受付で喜寿の名札をいただいた時、深い感慨に襲われた。 私は1958年3月に中学を卒業、その式の最中に式場である 講堂が煙に包まれ、鎮火してから式の続きを校庭で行った年の中学卒業生。兄二人も中高を出ている。

私は高校から別の学校へ進学し、アメリカ留学、その後のイタリア生活を経て、安三先生、大野先生のご縁で、短期大学・大学の講師を合わせて32年間勤めさせていただいた。 式では木村牧師のお説教の、安三郁子両先生と学園を例に、「落胆の先にあるものに目を注ぎなさい」の言葉が胸に納まった。

礼拝の後は茶話会。おいしいお弁当をいただきながらの談笑の顔は皆中学時代に戻っていた。最後は全員で手を組み、旧新校歌を歌った(旧校歌を覚えている私たち中学卒業生が前に出て)。いずれも作詞は清水安三先生であり、安三先生、郁子先生に親しく話しかけていただいたことを貴重なことと心に刻んだ。

桜美林スピリットと友情、和みに包まれた素晴らしい記念礼 拝茶話会であった。健康に気をつけて3年後にま た会いましょうと皆笑顔で言い合った。

末吉杉子/57中学卒

清水安三先生随筆

基督教世界」

大正12年(1923年)10月25日

小林茂/51高校卒仮名使いは新仮名使いに改めました。原文、難しい本漢字は略漢字に、旧



(三) 焼跡からの掘出物 清水安三

それは九月六日の夕暮だった。K購

売組合の事務所へ四名の青年が、どかと飛込んで来た。その誰もが口髭 のまばらな、ひらべったい顔の持主ば かりだった。彼達が韓国朝鮮人かそれ とも中国人であることは、ちょっと見

い。」
「あの、この箱、どうか預って下さい。

てるんに違いない。
をのないせかせかした声であった。多かのないせかせかした声であった。多いないがあれる。

「あゝ、いゝとも置いて行き給え」

達は身を置くところがなかったのだよ。

「可愛相に、殺気立った東京の町に彼

あった。そうだそれにしては少し大きいもので預った。箱は古びた蜜柑箱のような、購売組合のF理事は雑作なくその箱を

證明している。 達のてっきり韓国朝鮮人であることを 彼達は濁音がよく出ない。それが彼 「やっと安心しました。ありがとう」

「ちょっと休ませて下さいますまい にあういった丈で、さあどうぞとも何と をういった丈で、さあどうぞとも何と を育は時節柄物騒であるから、彼達に 下君は時節柄物騒であるから、彼達に が」

二 追いまくれて隠れ家がなかったのだ。」 ものだね」 ものだね」 相合の人達は斯うした会話を取りかわし乍ら、彼達の噂していた。そうした。そうしていた。そうしでいた。そうしでいた。もの、三十分もすると、どやどやと、大勢のものが這入って来る気がやと、大勢のものが這入って来る気がした。見れば青年団の一隊であった。

走った眼をぎょろつかせているところ。これも息を切って物を言う。もう血なかったですか」

たがね……」 「韓国朝鮮人だか、中国人だか来まし

「逃がしたか、一足遅かった。

、折角の

已に殺気立っていた。

うっ で 所 手に失望して居る。青年団はふと で 勝手に失望して居る。青年団はふと で 勝手に失望して居る。 青年団はふと で 勝手に失望して居る。 ま で は で に 変 相箱を見着けた。 で は る と

噫、その時だった。K購売組合のF 理事は、あの小さい顔を真赤に朱そゝ いで立ち上ったのである。 「ちょっと待って下さい。その箱は僕 「ちょっと待って下さい。その箱は僕

があれる。これでは、またまである。「生意気言うな」罵倒の声、怒鳴る叫届けるであろう……。」

であることを告白した。 の前に立ちふさがって自ら韓国朝鮮人いってる裡に四人の青年達は、青年団びがF君の上に浴びせかけられた。

唇と手をわなわなふるわせていた。韓国朝鮮人青年達は蒼い顔をし乍らに」

「どうかF様に迷惑のかゝらぬよう

あった。 青年団の言分も無理のないことで 「兎も角その箱を開けよう」

「いいえ、開けさせませぬ、どうか僕 「野鳥も飛んで懐に入れば猟人も之を がつとあります。僕は江戸児の義侠に 放つとあります。僕は江戸児の義侠に がつとあります。僕は江戸児の義侠に

もう韓国朝鮮人青年達は泣いていた。 声上げてよゝとなきじゃくっていた。 やがて竹槍の青年団は一人去り、二 人去り、遂に韓国朝鮮人青年四名がF 君の前にしょんぼりと立って居た。 F君はそっと箱の紐を解いた。中に はアルコールと揮発油の硝子瓶がぎっ しりと詰っていた。F君は今更のよう に韓国朝鮮人青年達を凝視した。韓国 のが下

双方の視線がばったり合った時、彼朝鮮人青年達もF君を見上げた。

|おゝ先生

達は思わず叫んだ。

その二

確か錦糸堀辺だったと記憶して居る。

あったと思う。 それは本当に劇

め

11

た深酷な場面

で

ワークショップ開催報告

「八重の桜が咲く頃」

桜美林中学校舎で桜美林学園創立百周年記念企 画のワークショップ「八重の桜が咲く頃」―橋 本英雄校長、川上ヨシ校長の功績を偲んで─が 開催され、前学園理事の小椋郊一先生と神田道 彦先生、元中高教諭の桜井萌先生と橋本良司先 生が、橋本先生と川上先生を偲んで想い出をお 話くださいました。また、質疑応答では元中高 校長の奥脇信久先生も両先生のお働きについて 触れてくださいました。先生方のお話で特に心 に残ったことは、橋本先生が生徒募集で学校訪 問をされた際、まだ桜美林が無名であったため 名刺すら受け取ってもらえず、悔しい思いをし たご自身の経験を踏まえて、「若い教員にはこ のような思いをさせたくない」と語っておられ たことや、卒業生がいつ訪ねて来ても最初に会 えるように、校長室ではなく事務室におられた こと、そして川上先生は生徒が手術を受けた際 にずっと立ち合われたことや、ご自身の退職金 をすべて学園と教会のために捧げられるなど、 そのお姿を通して元中高校長の小川留三先生が 「あんなにすばらしいクリスチャンはいない」 と語っておられたというエピソードです。桜美 林がまだ世間において認知されていない時に、 大変な労苦を担われた先達のお働きがあったか らこそ、今日の桜美林があることを改めて痛感 しました。私たちオベリンナーは、先達への感 謝の思いを忘れることなく、歩み続けてまいり

同窓会幹事 木村智次/00大国卒



たいと願ってやみません。

2019.02.25

得なかった。 その肥田子の中に罹災民達が、 か いっているのであるから堪らない。 いで居る。「まだ焼跡も片付かぬ今日 罹災民達が、 是している裡に、 る。 いうに、そこに一つの肥桶がある。 何をいっとるのだ」と思わざるを 怎ういう

具合にお金を集めると 石碑を建てるといって騒 が、 皆のものが義捐し始 罹災民達は本気で お金を 彼前

ろが、 乗っけては渡す、 ことよりも好きなこのおわい屋、 その時に、そこにおわい屋が、舟を浮 溺れたものも少くなかったのである。 はもう河の中へ落ち込んだ。そうして である。 という風に、 ても押されても渡り切れぬ。 うて錦糸堀の橋までやって来た。 度帝都は火事の真最中、 かりそうなものである。 て居った。親切することなら飯食う それには中々仔細ある訳がある。 もう橋は人の群でぎっしり、 幾十度も繰返す裡に火は河に 幾度も々々も渡らせたの 渡しては又乗っける 民衆が逃げ狂 で、 民衆 とこ 人を 恰ら 押間

> のである。 た。そうして憐れにも彼は焼け死んだ 迫って、このおわい

て献金袋に糞桶を代用しなくってもよ

投込むのである。

幾ら非常時だとい

. つ

けれども自らの命を失って仕舞うた。 に来て、 鎮火の翌日、 あ のおわい屋さんのお蔭で、 おわ

ŧ

で居る。 まった。 **゙おわい屋の親切が忘れられ** 々に噂し乍ら、 この橋畔に群 れ

 \Box

る男が、 「あら、 その舟の傍に、 舟 焼け太った赤い背を丸出しに も焼けたらし 豆絞の手拭を鉢 巻

屋の舟に火が着

あるから、

民衆は忽ちにどよめいた。

死に浮んていた。その骸を見たもの

彼は何十、 多くの人達はこの河の畔 否何百人の人達を救うた。

あゝ死にましたか_

「おわい屋が死んでいる。

死んだか、

屋の舟があればこそ」 おわい屋のことを思い出した。 するとそこに半焼の舟が浮ん ぬ等 ح 集

次第、 懐中はさびしい。 のおわい屋、 であるから、 お金が投げられたのである。 を建てる議が起り、 の頼みである。 のあり、 感極まって泣くものあり、 誰いうとなく「おわい屋の 念仏申すものもあるとい 余程のことである。 彼は永えに錦糸堀 そのお金を投出す 誰しも現金が何よ その遺せる肥桶に、 罹災民 合掌す 河

処理場まで運ぶ仕事をする人のこと。 「おわい屋」は、 人の糞尿を桶に入れて

芳しい香を遺すことであろう。

皆さまからのお便りひろば

竹内伊久/73高校卒

(東京都町田市)

なんてことでしょう、どうしましょう…。佐藤誠一郎先輩のご逝去された記事に息を飲むほどびっくりしました。いつも笑顔で後輩の私たちに優しく接してくださった事が昨日のようです。さみしいですね。安三先生と郁子先生とお会いしていますか。きっと思い出話に花が咲いていることでしょう。ご冥福をお祈りいたします。

渡部慶子/64短英卒

(山形県鶴岡市)

こんにちは。いつも同窓会だより有難うございます。皆さんの色々な活躍見せていただいております。すごく大きくなりましたね。桜美林で学んだ日々がなつかしく思い出されます。昔だったので淵野辺までタイプを習いに行ったり、休みには裏の山々もめぐりました。卒業してから55年経ちました。どうぞお元気で。

羽根吉希代子/83大英卒

(神奈川県相模原市)

2016年3月から2018年11月にかけて、アメリカ・イギリス(スコットランド・ウェールズを含む)・カナダ・オーストラリア・ニュージーランド・アイルランドに加え、アイスランド・デンマーク(コペンハーゲンのみ)・フランスへ撮影旅行に行きました。夫婦二人で日本人があまり訪れない場所(シェトランド諸島[スコットランド]やブルターニュ半島[フランス])を敢えて選び、将来フォトエッセイを出すのが夢です。

今本弥生/10大院卒

(神奈川県川崎市)

老年学で学んだ事を在宅看護の現場で役立ててがんばっています。

清水与志雄/76大商卒

(宮城県仙台市)

2019年4月より日本基督教団仙台東教会に赴任しました。牧師としては最終任地と考え、全力を尽くし主イエス・キリストに献身する所存です。母校の上に神の祝福を祈っております。

中富貴仁/82大商卒

(東京都渋谷区)

平成最後の4月22日に霞が関の国土交通省において観光関係功労者として国土交通大臣表彰を受けさせていただきました。皆さまのお力添えのおかげで感謝いたしております。これからも我が国の観光産業発展のために精進してまいります。

飯田勝己/76大中卒

(茨城県北相馬郡)

今回リ・ユニオン講師の阿部先生と同窓なので再会が楽しみです。 私もまだ現役で茨城県で鍼灸院をやっています。

.....

横塚秀夫/73大英卒

(群馬県前橋市)

卒業して45年以上過ぎましたが、桜美林からの風はいつも暖かく 私が学んだ1970~1973年の輝ける青春時代の思い出とともに、 年々人生の大きな糧となっております。リ・ユニオンなどを通じて 桜美林で学んだ事の大事さを大切にし、後半の人生を意義あるもの にしたいと強く感じているこの頃です。ありがとうございました。

片岡由理子/76大中卒

(東京都中野区)

46年前の春、学園内の電話BOX、小銭入れに10円玉いっぱいに入れて呉れた母に私はどの様な連絡をしていたのか思い出せないのですが、その時チョット訛った話声で100円玉を出して小銭を替えて欲しいと言ってきた桜美林で初めての友が先日亡くなりました。その報と同じ郵便受けに同窓会誌を受け取りました。卒業してから40年ぶりの友人達と涙の連絡、お互い自分の忙しさに「近くに居るのだからいつでも会える!」なんて簡単に考えていた事への反省会です。今回阿部友昭氏がリ・ユニオンに講演でいらっしゃるとの報に励まされ是非参加させていただきます。

加瀬裕子/元大学教員

(東京都目黒区)

いつもご連絡をいただき有難うございます。桜美林大学から早稲田 大学へ移りまして13年が経ちましたが桜美林大学のことは常に気 にしております。キリスト教への関心と共に清水安三先生の教育観 から貴重な示唆をいただいたことに心から感謝しております。

学園資料の寄贈にご協力ください

2021年、桜美林学園は創立100周年を迎えます。私たちはそれぞれの時代に青春を過ごし、懐かしい風景や想い出を持っています。学園同窓会では、皆さまの心に残る学園風景や記録となる品々を集め、学園の歴史として次世代へ残していくことが大切な役割と考えております。つきましては、同窓生皆さまのお手元にある写真や資料などで同窓会へ寄贈いただけますものがございましたら、ぜひお願いいたします。寄贈いただきました品物は大切に保管・管理し、適宜展示、写真集などを通じて幅広く学園の歴史を知っていただけるよう努力してまいります。右記事項をご理解いただき、次世代へ残す資料寄贈に、ご協力のほどお願い申し上げます。

【寄贈例】

学園の建物外部·内部·日常生活·学園での記念行事を撮影した写真。 (部活動風景·授業風景·学食風景·入学式·体育祭·文化祭など)

清水安三先生·郁子先生に関する写真および品·卒業アルバムなど その他学園の歴史的資料となるもの。

※わかる範囲で撮影年月を裏面へご記入ください。

【注意事項】

誠に勝手ではございますが、寄贈に際しましての送料はご負担をお願い します。寄贈いただいた資料・写真は返却いたしません。また今後、写真 集や同窓会だよりなどに掲載される場合があることをご理解・ご了承の 上、寄贈をお願いします。

【お問い合せ・ご送付先】

桜美林学園同窓会

〒194-0294 東京都町田市常盤町3758 **6** 042-797-1632 ⊠ alumni@obirin.ac.jp





追悼

桜美林学園ならびに同窓会の発展に多大な貢献を果たされた、 三田宰子元桜美林短期大学学長が、平成31年4月にご逝去されました。 謹んでご冥福を心よりお祈り申し上げるとともに、感謝と哀悼の意を込めて追悼文を捧げます。



三田宰子先生に感謝を込めて

平良美榮子/61短家卒

昨年10月に先生は、散歩ができるまでに回復されておりました。散歩の道すがら、次々と植物の名前を口にされる、嬉しそうな姿に安堵したものです。12月末には足首の痛さを話され、春になって暖かくなったら又お会いしましょうね、と言ってお別れしました。

暖かくなった4月中旬に、お電話を した時も、お変わりない様子でした。 しかし、その時先生は「もう心配し なくていいのよ、学校の方々にもそ う伝えておいてね」という、謎めい た言葉を残されました。その時は、 病院での手続き中でとお忙しそうで したので、その意味を確かめること はできませんでした。 想像力に乏しい私は、その言葉がこの先の先生の生き方への覚悟、を伝えて下さったものだということに気付きませんでした。それから数日後に、先生が亡くなられたことを知りました。あまりに突然の出来事で、自己嫌悪に陥ってしまいました。 先生に初めてお会いしたのは、学長秘書をされている時でしたので、挨拶を交わす程度でしかありませんで

した。 その後、短大の学長として活躍され た当時は、短大の存在意義が大きく 問われ、存亡の危機に直面していた 頃でした。その対策への並々ならぬ 努力と奔走は教授会で、常に議論を 戦わせるような、斬新な事柄でした。 その過程で招聘された先生方のご活

普段先生は、自慢話を口にしたり、

躍を、折に触れて殊の外喜んでおら

態度に表したりすることはありませんでしたので、内に秘めた喜びの大きさを痛感しました。



三田宰子さん

1936年生まれ。1957年桜美林短期 大学家政科卒業後、同大助手や桜 美林高等学校教員などを勤めた後、 アメリカに留学。1975年、南イリノイ 大学大学院博士課程中等教育科を 修了。帰国後、桜美林短期大学教授、 同大家政科長などを歴任。1989年 から2000年まで桜美林短期大学学長。

ご逝去された方々 謹んでご冥福をお祈りいたします。 敬称略()内は旧姓(]内は逝去年月

れました。

※ご報告順

三田宰子 元桜美林短期大学学長	小泉清一	佐々木(霧生)富枝 49中学卒〔18.12〕
	城 充雄 ·····97 高校卒	桑名康之
渡邉クニエ 元桜美林大学教授〔18.11〕	鎌田和久81大英卒〔19.02〕	市川(石阪)道子 53 高校卒〔18.10〕
井上 朗(井上隆一郎) 元桜美林大学教授	小野沢(安藤)泰子 68大英卒〔19.03〕	小室(小島)榮子 53 高校卒〔19.01〕
(16.04)	吉田昌彦 81 大英卒〔19.02〕	森田真衣
小川欣亨 元名誉理事〔19.05〕	松永(吉村)英子 75 大中卒〔19.03〕	辻 由弘 · · · · · · 56 短英卒
坂井一聖70大中卒〔18.05〕	星谷(石坂)百合子 52 高校卒〔19.03〕	村上義樹83大商卒〔18.12〕
中野(渡辺)千代美 58短家卒	西沢きよ子 70 短家卒〔19.01〕	萱沼(射越)映子 68高校卒〔18.04〕
咲間(岩本)千秋 81 高校卒 [18.09]	佐布真理子83大英卒〔19.02〕	小沼(鈴木)勝子 62 高校卒〔18.12〕
田中秀夫72 大経卒	徳井 誠63 高校卒〔18.11〕	山田(橋本)光子 67 短家卒〔19.06〕
岡 守84 大中卒〔18.11〕	狩谷 普 · · · · · · 61 高校卒	平田(腰山)陽子 63 短英卒〔19.05〕
石井(辻村)直子 78短英卒〔99.02〕	井上(古郡)ふみ枝 69 短英卒 [07.]	
佐藤健次65 高校卒〔18.11〕	會田洋一 84 高校卒〔18.12〕	

INFORMATION

これからの行事予定

2019 *印は同窓会主催。	詳細はそれぞれのウェブサイトまで。
----------------	-------------------

14410.610610.5
9月22·23日(日·月)
10月5日(土)
10月19日(土)
10月26日(土)
10月26·27日(土·日)
11月16日(土)
11月24日(日)
12月1日(日)
12月14日(土)
12月24日(火)18時~

2020

元旦礼拝(復活の丘 桜美林教会)	1月1日(水)11時~
成人式祝い礼拝・茶話会☆	1月13日(月)

特別会費納入のお願い

同窓会では会費納入規程第4条に基づき、学園をご卒業後10 年、20年、30年の同窓生に各5,000円もしくは初回時(卒 業後10年)に永年会費として10,000円の納入をお願いして おります。皆さまからお預かりした特別会費は「同窓会だよ り」の発行や同窓会の諸活動、また学園支援に幅広く活用さ せていただいております。今後もさらなる同窓会発展のため に努力してまいりますので何卒ご理解の上、ご協力ください ますようお願い申し上げます。

特別会費納入対象卒業年度

- ●1988年度卒業生 ●1998年度卒業生 ●2008年度卒業生 ※卒業年度は会員番号上2桁でご確認ください。
- ※会員番号は宛名ラベルのお名前の下に8桁の数字とアル ファベットで記載しています。

送金方法

●銀行振込/三菱UFJ銀行 町田支店 普通 口座番号: 4591073 口座名義:特別会費 桜美林学園同窓会 代表者 長谷川哲雄 ※振込依頼者の後に会員番号を追記してください。携帯から のご送金など追記できない場合は不要です。

特別会費をご納付いただいた皆さま 敬称略

佐藤栄治/87大商卒 安藤 恵/97大英卒 中島慶子/87大英卒 渡辺宏美/97短生卒 松原芳和/87大英卒 井上晶子/07大院卒 齊藤由希子/87短英卒 小山順之/07大BM卒 金平伸一/87高校卒 藤澤宏樹/07大経卒 吉田久美子/97大院卒 丸山晋平/07大BM卒

感謝の誌代 敬称略

藤崎堅信/元中高教諭	… 5,000円
江口康久万/77 高校卒	・10,000円
阿部友昭/75大中卒	· 20,000円

同窓生の本

映画の字幕ナビ

落合寿和さん/89大英卒



いくつもの映画の日本語字幕を担当し、翻訳家として 30年近く活躍してきた著者による、「映画の字幕」に 秘められた様々な表現を語り尽くす一冊。 映画を愛する人間ならば、必読の書といえ るだろう。



会員の皆さまの個人情報の取り扱いについて

同窓会では、皆さまの個人情報につきまして、学園のプライバシー ポリシーに基づき厳重な管理をしており、会員名簿の発行は1996 年に作成したものを最後にいっさい行っておりません。しかし、過 去に発行した同窓会会員名簿や卒業生名簿が一部の名簿業者に渡り、 その名簿を購入した企業より、営業目的のDMや電話があったとの 情報が事務局まで寄せられています。名簿の保管には充分ご注意い ただき、第三者への譲渡や販売はお控えくださいますようお願い申 し上げます。またDMや電話から、その企業へ名簿を提供した業者 が特定できた場合、お申し出により名簿記載事項の削除を求めるこ とができます。ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

事務局より会員の皆さまへ

転居など、個人情報の変更手続きは、同窓会ウェブサイトの専用 フォームをご活用ください。ウェブサイトをご覧になれない方は、 桜美林学園同窓会事務局までご連絡ください。

ウェブサイト/https://www.obirin.jp/alumni メールでのお問い合わせ/alumni@obirin.ac.jp お電話でのお問い合わせ/6042-797-1632



編集後記

6月1日の総会&リ・ユニオンでは、講演会での阿部友昭氏のお話に 感動された方が多くいらっしゃいました。今号に内容を要約して掲 載しております。全文は同窓会ウェブサイトにてぜひご覧ください。 また、同日参加された方々に、アンケートにご協力いただきました。 同窓会だよりは、毎号多少のリニューアルを繰り返しております。 今号は表紙のデザインを一新してみました。より読みやすく、多く の同窓生の皆さまに手に取っていただけるようにと願っております が……如何でしたでしょうか? これからも皆さまの声を大切に作っ てまいります。さて、次号の発行は来春になります。皆さまからの お便りを楽しみにお待ちしております。 広報委員長 井伊公友